

2025年度 事業所における自己評価結果

(対象人数：(従業員) 8人 回答者数 8人 回収率 100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		室内活動以外にも屋外活動も組み合わせて活動を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			配置基準以上の人数を確保・配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5		改修工事含め今後も必要に応じて随時改善致します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	2		今後順次整えて参ります。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		今後ご意見等をうかがいながら活動や業務の改善につなげて参ります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		公式HPにて公開致します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	3	実施の予定はありません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2		事業所内で講師を招き性教育に関する研修を実施するなど、職員の資質向上に努めています。今後も内容や頻度を検討の上実施して参ります。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者様からの聞き取りや日々の様子も踏まえて職員間で分析の上、支援計画を作成しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3		現時点では標準化されたアセスメントツールは使用しておりませんが、日々の様子や他者との関わり方などコミュニケーションを通じて現状の把握を図っております。今後、発達検査等の情報を保護者様と共有して、支援をすすめていきたいと考えます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		1	各種イベントや日々の活動スケジュールなど職員全員で意見を出し合い策定します。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			室内外ともに活動内容が固定化されないように子どもの意見を取り入れ、イベント等を通して本物の体験が出来るように努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	3		子どもたちの「やってみたい」「挑戦したい」という思いを大切にしながら計画しています。平日・休日・長期休暇それぞれの時間の特性を活かし、子どもたちの意見を取り入れた活動を実施しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		日々の様子や保護者の意向を踏まえ支援計画を策定していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		毎日、一日の活動の流れを打合せしたうえで支援を実施しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2		支援の振り返りや課題点の共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			実施した支援の様子等を記録に残し、毎日ケース会議を行っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		子どもたちの現状を分析したうえで定期的な支援計画の見直しや課題の再設定を行っています。
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	2		今後も複数の要素を取り入れた支援を継続していきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			今後も変わらずに参加・継続してまいります。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		より一層連携に努めてまいります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	2	今後必要に応じて体制を整えていく予定です。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2		より一層連携に努めてまいります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	6		11月より、運営会社が変わってから、学校を卒業して障害福祉サービス事業への移行する対象児童はおりません。今後は、個々に合わせた情報提供や連携を行ってまいります。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	1	積極的に研修の実施など検討してまいります。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	3	施設間での交流は現在行っておりませんが、地域の公園等で一緒に遊ぶ機会を設けています。今後はイベント等で交流を増やしていけたらと考えております。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	1		積極的に参加しております。今後も継続していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			サービス提供記録や送迎時のやり取りなどを通じて情報共有に努めています。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4		保護者様を支援の対象と捉えるだけでなく、子どもの育ちを共に考えるパートナーとして関わっています。「保護者の対応力を高める」という一方的な支援ではなく、日々の相談や保護者交流会等を通して、それぞれのご家庭の思いや価値観を尊重しながら、共に学び合い成長していける関係づくりを大切にしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			相談支援等を通じて保護者様と悩みを共有し、対応と一緒に見つけていきたいと考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	7		保護者様同士の交流の場を設け、情報の共有や交換の機会を作っていきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2		現在のところ苦情のお声をいただいた事はありませんが、頂戴した場合は真摯に対応させていただこうと考えております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		アミー通信やInstagram、HPなどを通じて情報を発信し、子どもの様子や支援内容等をわかりやすく伝えられるように努めています。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			今後も個人情報に配慮した運営に努めます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			様々な方法をもって意思疎通・伝達に努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	3	地域も大切な資源の一つと考え、地域住民とのつながりを重視しながら、イベントへの招待等を通じて地域に開かれた事業運営を行っていきたいと思えます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	1	各種マニュアルの内容は精査の上で必要に応じて更新予定です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	4	1	内容や頻度を検討の上で定期的の実施継続していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	1	内容や頻度を検討の上で定期的の実施継続していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	1	利用契約書にて記載し、理解していただいています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	1	保護者様からいただいた情報を元にアレルギー対応を行っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		ヒヤリハットを職員間で共有をしています。